

実施レポート

eスポーツキャンプ

esports camp

主催



企画・制作・運営



協賛





eスポーツキャンプ

esports camp

主催 泉佐野市

e-stadium HZVI
mouse Logitech Logitech G
mouse Logitech Logitech G

mi-Plus

Ustream

岬町

阪南大学

rnm

Yeparty

ACAmayo

mizudon



eスポーツキャンプって？

キャンプを通じて新しい交流が生まれ、日々交流を深め、仲間ができました。

キャンプを通じて、手に入れたのは、「繋がり」のようです。

ほとんどの参加者が普段は1人でプレーしている子ばかりでした。
仲間と、それも同年代と一緒にプレーするのは初めてとの事で、初日は緊張感に包まれていました。

しかし次第に打ち解け始めると、「ナイス！」と仲間に声をかけ、ドンマイとチームを鼓舞する。
コミュニケーションが苦手そうな子も、次第に心を開いていきました。

また、我々がこのeスポーツキャンプを通じて叶えたいものの一つは、「青少年の健全育成」
その理念に従って、例えば、プログラム以外での夕方以降の練習は、禁止。みんな朝練に励んでくれていました。

参加者たちの声

- ◆初めましての人たちとずっと前に一緒にやってるうちにめちゃ仲良くなれて楽しかった
- ◆チームメイトが隣にいる！ラウンド取得でぐーたっち！ほんとに楽しくて最高でした
- ◆お世辞抜きで今までの人生全て含めて1位2位を争うレベルで楽しかったです！
- ◆帰るのが少し悲しいくらいこの環境が楽しかったです。また開いてほしいです！
- ◆本当に楽しかったし4日間がすごくあっという間に感じた。
- ◆ほんとに楽しかった！！豪華キャストに会えてよかったし、VALORANTと一緒に出来る友達も増えたとし、上位ランクにいる人たちがどうやってゲームをしているか学べて充実した4日間でした！参加して良かったです！！
- ◆自分の成長、したことのない経験、好きなストリーマーやプレイヤーにあえる、全部含めて最高でした！また次の開催が来るのを待ってます！

(番外編) 保護者の方から頂いた声

息子は、高2でeスポーツ部に入るため高校を編入したが、コロナで思うように部活もできず腐ったり戻ったりを繰り返して、このキャンプに参加するところまでたどりついた。

キャンプ最終日に「行ってよかった、ありがとう」とLINE来た時は泣いた。

今しかできない、とても貴重な良い体験をさせていただきました。

いつもは無口な息子が、色々と話してくれて、主人と二人で感動しました。

eスポーツキャンプ2022 プログラム

全体の流れ

初日にチーム分け

参加者は応募時に自身のゲーム内ランクを申請します。そのランクを加味して全チームのバランスが良くなるようにチーム分けを行いました。

2日目にチームごとに徹底的に練習

2日目は会場内での練習試合を中心に、徹底的にチームプレイを磨いて貰いました。

チームの連携を高め、お互いの事を理解し、上位プレイヤーは下位プレイヤーを教える事で自身も成長し、下位プレイヤーは上位プレイヤーに教わる事で成長を促しました。

3日目にeスポーツキャンプ大会の開催

総当りで順位を決定します。

上位2チームが4日目の決勝戦へと駒を進めます。

4日目にeスポーツキャンプ大会の決勝戦

3日目の総当りの上位2チームがステージ上で決勝戦を戦います。実況に公式大会実況でお馴染みのOooDa氏、解説にはZETA DIVISIONのアカデミー部門コーチのVorz氏を迎えて会場を盛り上げました。

タイムテーブル	
1日目：8月22日（月）	
13:00 ~ 14:00	参加者受付
14:00 ~ 14:30	オリエンテーション
14:30 ~ 19:00	実力テスト/チーム分け/練習/夕食(弁当)
19:00	解散
Jasperさん、MOTHER3さん来場	
2日目：8月23日（火）	
9:00	会場集合
9:00 ~ 19:45	練習/昼食(弁当)/スクリム(会場内練習試合)/夕食(弁当)
19:45	解散
Jasperさん、MOTHER3さん来場	
3日目：8月24日（水）	
9:00	会場集合
9:00 ~ 13:00	練習/昼食(弁当)
13:00 ~ 20:00	大会/夕食(弁当)
20:00	解散
OooDaさん、Vorzコーチ、hiroronn選手、yatsuka選手来場	
4日目：8月25日（木）	
9:00	会場集合
10:00 ~ 13:00	大会
13:00 ~ 14:00	昼食(弁当)/閉会式
14:00	解散

参加者も、イベントスタッフも主役

運営者も主役



未来のeスポーツ施策の担い手を育成すべく、OCA大阪阪デザイン&テクノロジー専門学校の生徒が運営に携わってくれました。業界のトップランナーであるウェルプレイド・ライゼスト(株)様の下、会場の設営、参加者やトレーナーのフォロー、コンテンツの運営サポート、撤収までを経験する事で、活きた職業体験の場にもなっています。

以下参加者の声

- ◆ とても良い経験になりました。直にイベント現場で働くことで現場でしか得られない体験や、光景をみてとても感激でした。働きやすかったです。今回のイベントにスタッフとして参加出来たことを誇りに思います。参加させていただきありがとうございました！
- ◆ 普段では経験できない裏方の仕事を体験できて、裏方が頑張るからこそ、そのイベントのクオリティが上がり参加者に楽しんでもらえるものになるのだと分かりいい経験になりました。

トレーナーも主役



“ゲムトレ”のトレーナーには大学生年代のスタッフ。高校生である参加者たちの良き先輩として振る舞ってくれました。トレーナー自身もイベント非常に楽しんでおり、トレーナーと参加者はイベント終了後も引き続きオンラインでコミュニケーションを取っています。

以下参加者の声

- ◆ 初め自分のチームは負けが続いて、大会で勝てるのかと不安になっていたが、みんながついてきてくれて勝てたのがとても良かったし、トレーナーとして初めての経験で、すごく自分の糧になる経験ができたと思います。トレーナー同士も仲良くできたのでとても良かったです！！
- ◆ 高校生に戻れるならほんとに参加したかったなー！くらいみんな楽しそうで今後もこのようなイベントがあったら是非積極的に参加したいなと思いました！

泉佐野を楽しむ！

特別な体験



360度LEDモニターに囲まれるオチアリーナという非日常施設を市域に抱える泉佐野市。それに加えて、プロと同様なPC等の環境を提供しました。

始めは様子を見ながらプレーしていた参加者たちも、段々と気分が高揚し、アリーナという広く特別な空間であるが故に勝利の瞬間には「ナイスー！！」という大きな声が響く空間となりました。

参加者からは「同じ年代の人と並んでゲームする体験が格別だった」という声もあり、勝利した瞬間には隣の席の仲間と”グータッチ”をする瞬間が数多く見受けられました。

今回は、コロナウィルスの影響で、残念ながら、市域で他の体験をして頂けませんでした。同じく、コロナウィルスの影響で学校行事が無かったり、思うように部活動が出来なかったりする中で、学生時代の大きな思い出としてお持ち帰り頂きました。

地元食材を食す



調理を担当したのは大阪府地産の食材を採用した料理を展開する「空」という地元の食事処と、さらには参加者と同世代である大阪調理製菓専門学校の生徒にも協力して頂き、食を通じた同世代の交流を図りました。

泉佐野の農・海・畜産物をふんだんに利用し、郷土料理も提供。

参加者の日々の活力となる「食」にこだわり、栄養バランス等も考えながら現地の厨房で調理して料理を提供いたしました。

一人ひとりに対する挨拶に始まり、好き嫌いや大盛り/少なめのヒアリング、励ましの言葉など、参加者も明るい表情で食事を楽しんでいました。

特別ゲストもあり！

豪華ゲストが登場！

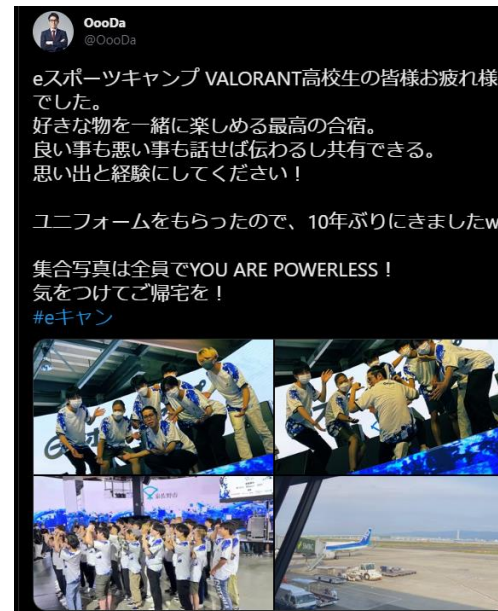


憧れのゲストに敢えて言葉が詰まるシーンも

このゲストに会いたくて参加したという参加者も多く、いざ直接話す機会が訪れると言葉が詰まって何も話せなくなる参加者もいました。

それぞれサインの対応、写真撮影の対応にも応じていただいた為、参加者たちは積極的にSNSに写真をアップしていました。

また、ゲストの方々もこの場を非常に楽しんでおり、イベント中には積極的に参加者に話しかけ、アドバイスを送ったり、イベント終了後にも自発的にSNSに投稿していました。











DXRACER

ACER

GTUNE mouse

eスポーツキャンプ
esports camp

DXRACER

DXRACER

DXRACER

eスポーツキャンプ
esports camp





LEAD

iiyama

Intel
CORE
i7

LEAD

Intel
CORE
i7



NE

mouse